

安全上のご注意

警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大ケガなど人身事故の原因になります。

- 本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器メーカーが指示している警告、注意事項に従ってください。
- 本製品の分解、改造、修理をご自分で行わないでください。火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保障対象外となります。
- 本製品やパソコン本体に、水などの液体や金属、たばこの煙などの異物を入れないでください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。
- 本製品を含め、ビニール袋や添付部品は、小さなお子様の手の届かないところに配置/保管してください。触ってけがをする、誤って口に入れる、頭から被るなど思わぬ事故の恐れがあります。
- 火災や感電、故障の原因となりますので、AC100V (50/60Hz) 以外のコンセントを使用しないでください。
- 本製品付属以外のケーブルを使用しないでください。
- 電源プラグは、コンセントに完全に差し込んでください。差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。
- ケーブル類や電源プラグは、傷付けたり破損しないように注意してください。ケーブル類を踏みつけたり、上に物を載せないでください。傷んだ状態で使用すると、感電や火災の原因となります。
- めくれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電の原因となります。
- 電源ケーブル (AC アダプター) を壁やラック (棚) などの間にはさみ込んだり、極端に折り曲げたりしないでください。
- 電源ケーブル (AC アダプター) を抜く時は、必ずプラグを持って抜いてください。
- 水を使う場所や湿気の多いところで、本製品やパソコン本体を使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。
- 静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属 (ドアノブやアルミサッシなど) に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失、破損させる恐れがあります。
- 本製品やパソコン本体に、水などの液体や異物が入った時は、直ちに電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあとご購入店などにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。
- 風通しの悪いところに設置する、布を掛ける、じゅうたんや布団の上に置くなど、通気口をふさいだ状態で使用しないでください。通気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となります。
- 本製品の周辺に放熱を妨げるような物や熱器具を置いたり、加熱しないでください。
- 本製品やコンピューター本体から煙が出たり異臭がした時は、直ちに電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあとご購入店などにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。

注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりケガをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。

- 本製品の接続、取り外しの際は、本マニュアルの指示に従ってください。強引な着脱は、機器の故障や、火災、感電の恐れがあります。
- 必要なデータはバックアップするようにしてください。本製品の使用中にデータが消失もしくは破壊された場合、理由の如何に関わらず、データの保証は一切いたしかねます。
- 本製品を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。機器の故障やデータ損傷の原因となります。
- 本製品やパソコン本体を次のようなところで使用、保管をしないでください。
 - ・不安定な場所
 - ・振動のある場所
 - ・高温 / 多湿な場所
 - ・衝撃のある場所
 - ・傾斜面
 - ・たばこの煙
 - ・腐食性ガス雰囲気中
 - ・ホコリの多い場所
 - ・直射日光の当たる場所
 - ・水気の多い場所 (台所、浴室など)
 - ・強い磁気の発生する場所
 - ・暖房器具の近く
 - ・飲食物の近く
 - ・静電気の影響を受けやすい場所
- 本製品の稼働中に電源ケーブルや、接続ケーブルなどを抜かないでください。機器の故障やデータ損傷の原因となります。
- 本製品のコネクター部分には触れないでください。故障の原因となります。
- 本製品や付属物の上に物を置かないでください。傷がついたり、故障の原因となります。
- 本製品を移動する時は、電源を切ってから AC アダプターもしくは電源ケーブルを取り外してください。機器の故障やデータ損傷の原因となります。
- 本体が熱い時はさわらないでください。本製品が動作中や停止直後は、本体が熱い場合がありますのでご注意ください。
- 本製品が結露した状態で使用しないでください。本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、内部が結露する場合があります。そのまま使うと誤動作や故障の原因となります。再度使用する場合は、時間を置いて結露がなくなってからご使用ください。
- 本製品を廃棄もしくは譲渡する際は、以下の内容にご注意ください。ハードディスクのデータは削除やフォーマットを行っただけでは完全に消去されません。特殊なソフトウェアなどを使用して、データを復元、再利用される可能性があります。情報漏洩等のトラブルを回避するためにデータ消去ソフトやサービスをご利用いただくことをお勧めいたします。本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。条例の内容については、各地方自治体にご確認ください。

故障かな?と思ったら

もし、トラブルが解消しなかった場合は、製品を購入された販売店、もしくは弊社までご相談ください。弊社では、「カスタマーサポート」の専用回線を設置しております。お問い合わせは、下記あてにお願いします。また、弊社 Web サイトでは、製品情報、製品に関するトラブルシューティング、ドライバーソフトおよびソフトウェアのアップデートサービスなど、最新のサポート情報を公開しています。お問い合わせの前にご確認ください。

ヤノ販売株式会社 カスタマーサポート
 住所: 〒653-0836 神戸市長田区神楽町2-3-2 東洋ビル東棟 2F
 Tel. (078) 646-7305 Fax. (078) 646-8983
 電話による受付時間: 月曜日から金曜日まで (祝祭日、特定休業日は除く)
 午前 9:30 ~ 12:00 / 午後 1:00 ~ 5:00

Web : www.yano-sl.co.jp
 E-mail : info@yano-sl.co.jp

ヤノ販売株式会社

〒653-0836 神戸市長田区神楽町2-3-2 東洋ビル東棟2F Tel. 078-646-7303 (営業) Fax. 078-646-8982
 E-mail: info@yano-sl.co.jp Web: www.yano-sl.co.jp



A08S-PS

はじめにお読みください

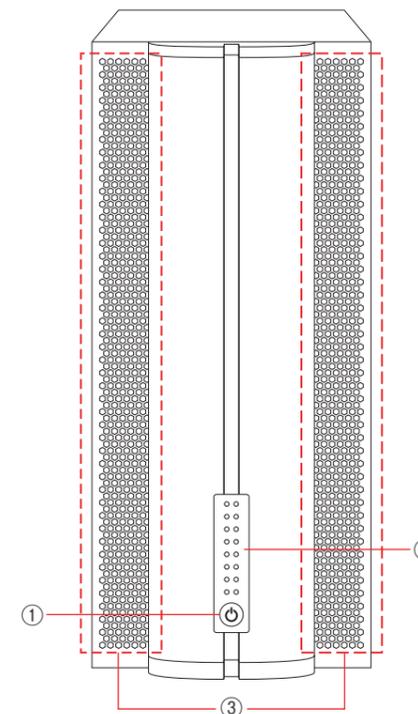
このたびは、弊社製大容量高速 PCI Express RAID 装置 **A08S-PS** シリーズをお買い上げいただきありがとうございます。本製品を安心してご使用いただくために、以下の解説に従って正しい接続を行ってください。

構成 パッケージ内容

- A08S-PS 本体..... 1 台
- ドライブホルダー (スペアドライブ含む).... 9 台
- 電源ケーブル..... 2 本
- PCI Express 専用接続ケーブル..... 1 本
- PCI Express インターフェイスボード..... 1 枚
- ロックキー..... 2 本
- ユーティリティ CD (A08S-PS)..... 1 枚
- A08S-PS・はじめにお読みください..... 1 部
- スペックシート..... 1 部
- 保証書..... 1 部
- ユーザー登録カード..... 1 部
- 365 日サポートシール..... 1 部

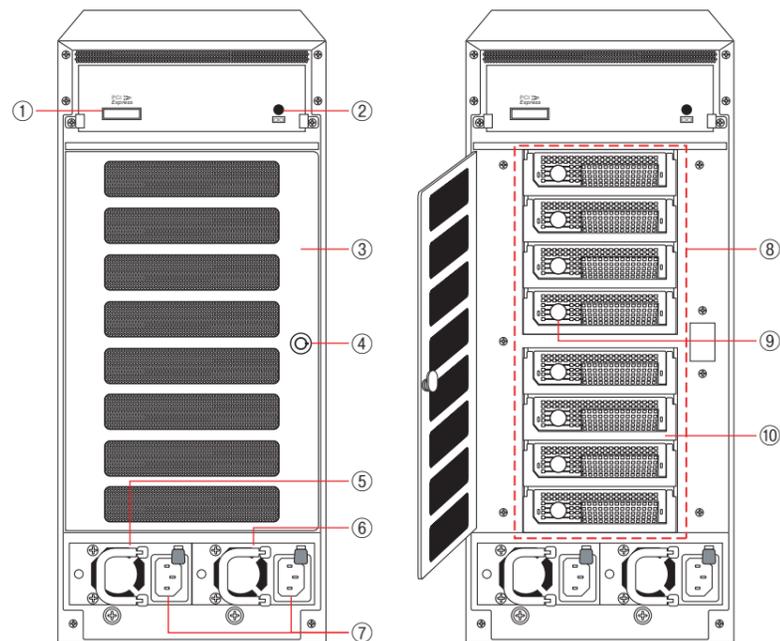
各部の名称とはたらき

● 前面



| | | |
|---|--------------|---|
| ① | 電源ボタン | 本製品の電源を ON / OFF します。 |
| ② | ハードディスク前面ランプ | 上から順に 1-8 番のドライブホルダーのハードディスクの動作状況を示します。 左側のランプ ・緑色: ハードディスクに通電中 ・橙色: ハードディスクの再構築中 ・赤色: ハードディスクの故障 右側のランプ ・青色: ハードディスクにアクセス中 |
| ③ | 通気口 | 通気口がありますので、この部分をふさがないように注意してください。 |

● 背面



| | | |
|---|-----------------|--|
| ① | PCI Express ポート | 本製品に付属の PCI Express 専用接続ケーブルを接続します。 |
| ② | シリアルポート | 弊社が使用するメンテナンス用のポートです。 |
| ③ | 背面ドア | 通気口がありますので、この部分をふさがないように注意してください。ドライブホルダーの脱着の際には、カギを開けて開閉します。 |
| ④ | カギ穴 | 本製品に付属のロックキーを差し込んで背面ドアを開閉します。 |
| ⑤ | 電源ユニット (L) | 電力を供給します。通電中は緑色に点灯します。 |
| ⑥ | 電源ユニット (R) | 電力を供給します。通電中は緑色に点灯します。 |
| ⑦ | 電源コネクタ | 本製品に付属の電源ケーブルを接続します。 |
| ⑧ | ドライブホルダー 1-8 | 背面ドア開閉部にドライブホルダーが装着されています。内部にハードディスクが取り付けられています。前面には通気口（細かい穴）がありますので、ふさがないようにしてください。 |
| ⑨ | ドライブ前面ボタン | ドライブホルダーの脱着の際に使用します。詳しくは、付属の「ユーティリティ CD(A08S-PS)」内にある Manual.pdf の P72 「パーツの交換と復旧作業」を参照してください。 |
| ⑩ | 取手 | |

ドライブホルダーを装着する

本製品では、精密機械であるハードディスク・ドライブが損傷する可能性を低減するために、輸送時の衝撃等を考慮して別梱包にしております。ご使用になる際は、**必ず電源を切った状態で**、ハードディスク・ドライブの装着されたドライブホルダーを取付けてください。

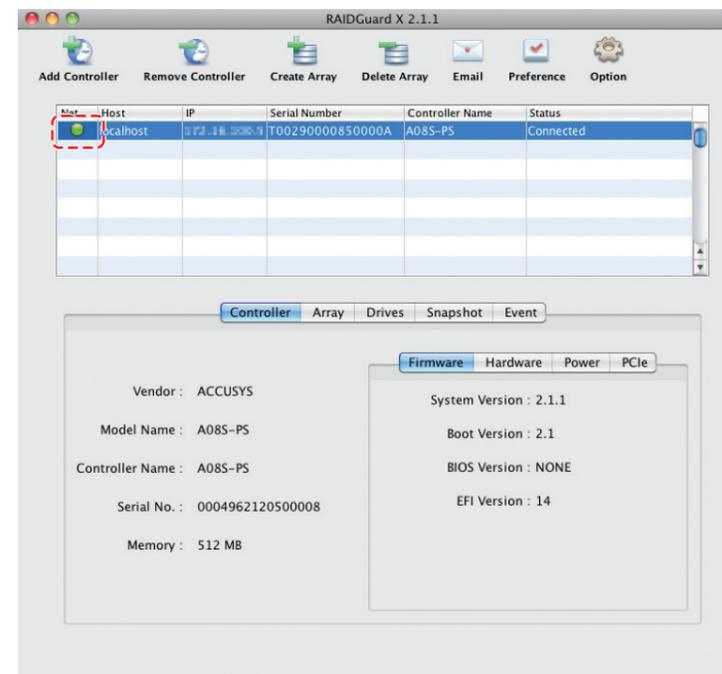
A08S-PS 本体とドライブホルダーを梱包箱より取り出し、まず外観に破損などが無いことを確認してください。また、破損が確認された場合は、弊社カスタマーサポートまでご連絡ください。

ドライブホルダーの取り付けについては、付属の「ユーティリティ CD(A08S-PS)」内にある Manual.pdf の P18 「本製品を設置する」をご覧ください。

● ドライブホルダーを本体に装着する際の注意

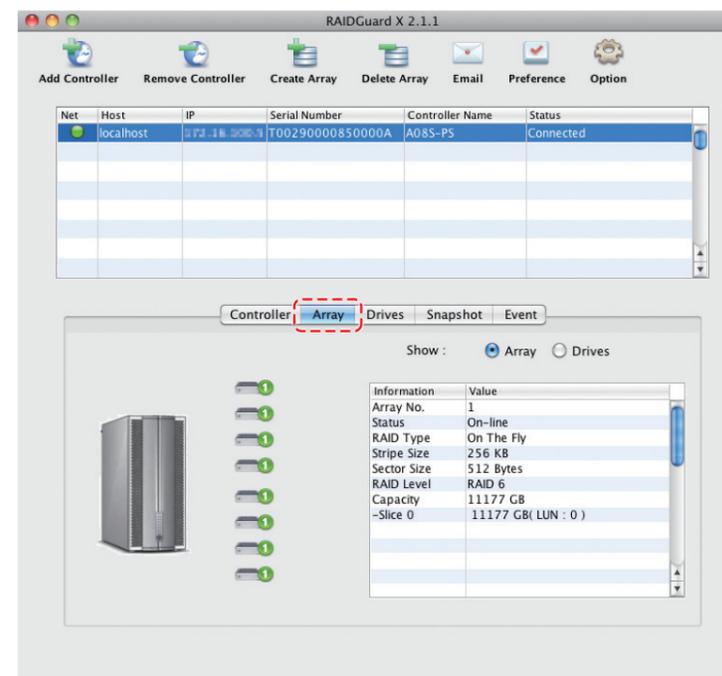
- ・本製品は「ホコリがハードディスクのコネクター部へ付着し、電氣的に不安定な状態になることを防ぐ」「空気の流れをスムーズにして、より効果的にハードディスクドライブを冷却する」等のため、ドライブホルダーの交換を背面側から行う構造にしています。
本製品の設置においては、稼働中にドライブホルダーを交換する場合を想定し、背面側に十分なスペースを確保できる場所に設置してください。
- ・電源を投入した状態で本体を移動させると、稼働中のハードディスクドライブに障害を引き起こす可能性があります。稼働前に、ドライブホルダーの交換が可能か確認した上で、設置場所を決定してください。
- ・取扱いの際は、衝撃を避けて移動や取り付けをしてください。
- ・ドライブホルダーを重ねたり、ハードディスク本体の上面を押さえたりしないでください。

4. Controller が正常に追加されると、Controller 一覧に表示され、[Net] に緑色のランプが付きます。



5. [Array] をクリックします。

Array の状態が正常に表示されていることを確認します。



以上で Controller の設定は完了です。

Macintosh の場合、デスクトップ画面にアイコンが表示されます。

データ保証について

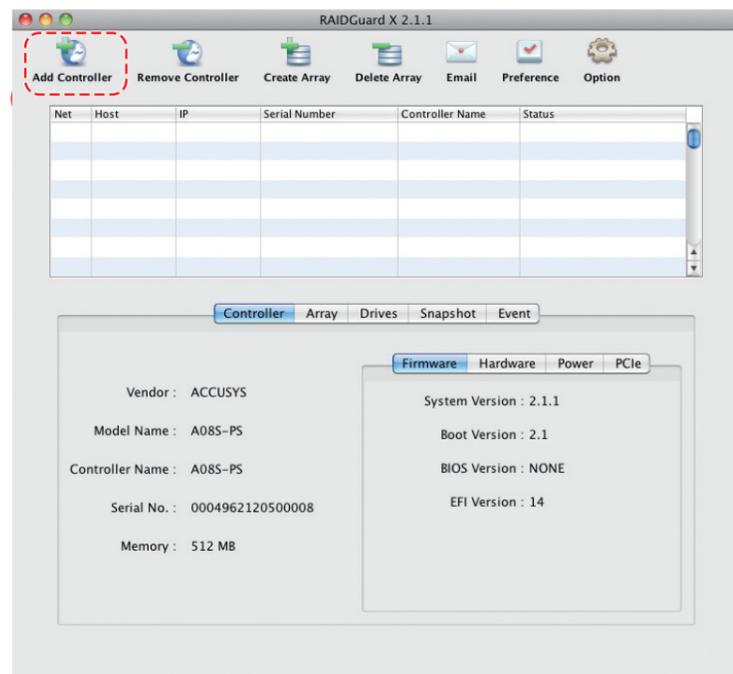
本製品を使用して、作成し、保存したデータが、ハードウェアの故障、誤動作あるいは他の理由によって破壊された場合には、弊社は理由の如何にかかわらず保証いたしかねます。必要なデータはあらかじめバックアップされることをお奨めいたします。

1. 「RAIDGuard X」を起動します。(Windowsの場合は「RAIDGuard X Client」を起動します。)

※ Windows でご使用の場合は先に「RAIDGuard X Server」を起動する必要があります。

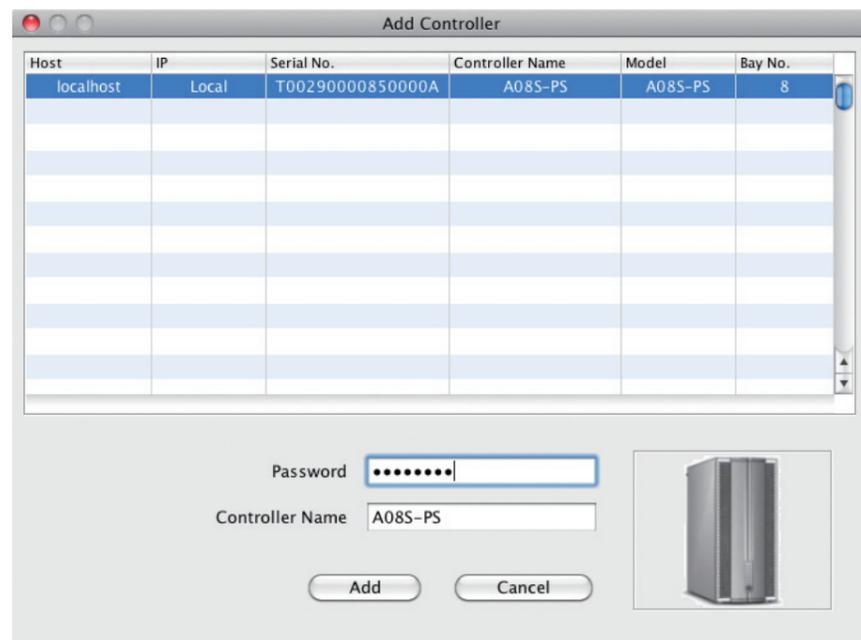
2. 「Add Controller」ボタンをクリックします。

ネットワークに接続されている利用可能な Controller のリストが表示されます。



3. 管理する Controller を選択し、パスワードを入力します。入力できたら【Add】をクリックします。

パスワードの初期設定は「00000000」（数字の0が8個）です。



操作手順

1. 本製品を接続するコンピューターに PCI Express インターフェースボードを取り付けます。

取り付け方法についてはお使いのコンピューターのマニュアルをご覧ください。



2. 本製品に必要なドライバーと、RAID ソフト「RAIDGuard X」をインストールします。本製品に添付されている「ユーティリティ CD」をコンピューター本体の CD-ROM ドライブにセットします。

Macintosh の場合

「Driver」→「Mac」の中の「Accusys_IP_MAC_X.X.X.mpkg」をクリックします。

※ X.X.X にはソフトウェアのバージョンが入ります。



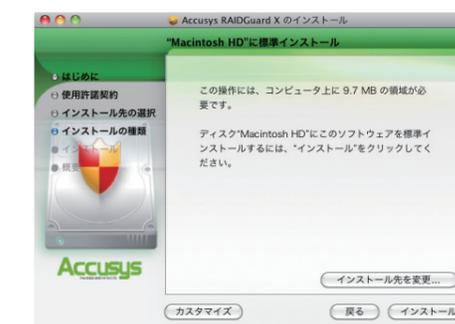
「Accusys RAIDGuard X のインストール」の画面が表示されます。
【続ける】をクリックします。

使用許諾契約の画面が表示されます。内容を確認のうえ、【続ける】をクリックします。確認の画面が表示されますので、【同意します】をクリックします。

インストール先のボリュームを選択し、【続ける】をクリックします。

インストールを実行します。【インストール】をクリックします。
カスタムインストールを行うときは、【カスタマイズ】をクリックし、インストールしたい項目を選択します。

インストールが終了すると、再起動を促すメッセージが表示されます。
【再起動】をクリックし、ソフトウェアのインストールを完了します。



※インストールに失敗した場合は、弊社カスタマーサポートまでご連絡ください。

Windows の場合

Java ソフトウェアをインストールします。
<http://www.java.com/ja/> から最新の java ソフトウェアをダウンロードしてインストールします。

※ 「RAIDGuard X」は、Java Version.1.6 以上が動作する環境が必要です。

本製品に添付されている「ユーティリティ CD」をコンピューター本体の CD-ROM ドライブにセットします。

「Driver」→「Windows」→の中から、お使いのコンピューターの OS に合わせて選択します。

32 ビットの場合「x32」、64 ビットの場合「x64」を選択します。

「6xxxx_IP_Win_X32_X.X.X.exe」もしくは「6xxxx_IP_Win_X64_X.X.X.exe」をクリックし、インストーラーを開始します。

※ X.X.X にはソフトウェアのバージョンが入ります。

インストーラーの画面が表示されます。【Next >】をクリックします。

使用許諾契約の画面が表示されます。内容を確認のうえ、【I accept the terms in the license agreement】を選択し、【Next >】をクリックします。

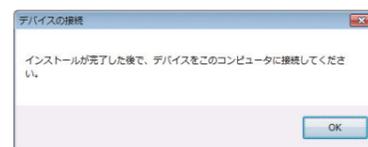
【Complete】が選択されていることを確認し、【Next >】をクリックします。

インストールの準備ができた画面が表示されますので、【Install】をクリックします。

※ Windows Vista などでお使いの場合、【ユーザーアカウント制御】が表示される場合があります。「許可」を選択し、インストールを続けてください。

デバイスの接続という画面が表示されます。【OK】をクリックします。

インストールが正常に完了した画面が表示されます。【Finish】をクリックします。



ここでは、Windows 7 を例に表示しています。それぞれの OS によって画面表示が異なります。

3. コンピューターを一旦終了します。

4. 本製品に電源ケーブルを接続します。(電源ケーブルは必ず二本とも接続してください)

5. PCI Express 専用接続ケーブルを本製品とコンピューターに接続します。

6. 本製品の電源を ON にし、コンピューターを起動します。

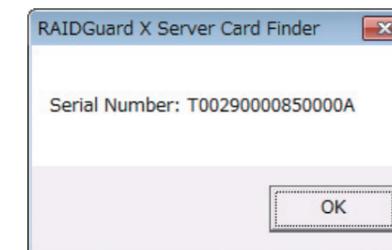
本製品を設定する

Macintosh で本製品を設定する

「RAIDGuard X Server」は起動時から自動的に常駐プログラムとして稼働します。

Windows で本製品を設定する

Windows でご使用の場合、ログオン後に「RAIDGuard X Server」が利用可能な RAID カードを探します。RAID カードが正常に認識されると右図のようなメッセージを表示します。【OK】をクリックします。



※ユーザーアカウント制御の設定によっては RAID カードが検出できず、「Find No Raid Card!!」というメッセージが表示されます。その場合は一度 RAIDGuard X Server を終了してから (次ページ参照)、RAIDGuard X Server を管理者として実行する必要があります。

・ 32 ビット OS の場合

C:¥Program Files¥Accusys¥RAIDGuard X¥Server

・ 64 ビット OS の場合

C:¥Program Files (x86)¥Accusys¥RAIDGuard X¥Server

上記のフォルダー内の WinGuiSrv.exe を右クリックし、「管理者として実行」をクリックしてください。ユーザーアカウント制御による確認画面が表示されますので、【はい】をクリックしてください。

※ RAID カードが検出できない場合、「Find No Raid Card!!」というメッセージが表示されます。本製品とコンピューターを PCI Express 専用接続ケーブルで接続している場合は、コンピューターの電源を切ってから、本製品の電源を切って、最初から作業をやり直してください。

※ PCI Express インターフェイスボードが正常に取り付けられているかどうか、PCI Express インターフェイスボードのドライバーが正常にインストールされているかどうか確認してください。

※ネットワークを経由してリモートで接続している場合は、Windows のタスクトレイから「RAIDGuard X Server」を終了させて、「RAIDGuard X Client」を使用してください。

「RAIDGuard X Server」アイコンが Windows のタスクトレイに追加されます。

